

津
端
亨
編
纂

現代短歌分類辭典

新裝判
22卷

津
端
亨
編纂

現代短歌分類辭典

新裝判
22卷

現代短歌分類辞典

新装版22卷

通卷180

平成四年一月一六日発行

定価一六、〇〇〇円

著者発行
兼印刷者

津 端 亨

発行所

現代短歌分類辞典刊行所

代表 津 端 亨

〒345

埼玉県北葛飾郡杉戸町宮前一九六―五

電話（〇四八〇）三八―〇〇四〇番

振替 東京三―九三二―四

(ISBN4-87706-180-0)

目

歌数 頁数		歌数 頁数		歌数 頁数	
九五	一	一	一	七	一
八	二	五	二	二	二
三	二	一	二	六	二
二	二	三	二	六	二
一	二	五	二	五	二
三	二	七	二	三	二
六	三	一	二	三	二
一	三	一	二	三	二
二	三	一	二	一	二
四	三	一	二	二	二
三	三	一	二	一	二
五	三	一	二	一	二
二	三	一	二	三	二
一	三	一	二	二	二
一	三	一	二	一	二
二	三	一	二	一	二
三	三	一	二	一	二
四	三	一	二	一	二
二	三	二	二	三	二
一	三	二	二	三	二
一	三	一	二	二	二
二	三	一	二	一	二
三	三	一	二	一	二
四	三	一	二	一	二
二	三	一	二	一	二
一	三	一	二	一	二
一	三	一	二	一	二
二	三	一	二	一	二
三	三	一	二	一	二
四	三	一	二	一	二
五	三	一	二	一	二
六	三	一	二	一	二
七	三	一	二	一	二
八	三	一	二	一	二
九	三	一	二	一	二
一〇	三	一	二	一	二
一一	三	一	二	一	二
一二	三	一	二	一	二
一三	三	一	二	一	二
一四	三	一	二	一	二
一五	三	一	二	一	二
一六	三	一	二	一	二
一七	三	一	二	一	二
一八	三	一	二	一	二
一九	三	一	二	一	二
二〇	三	一	二	一	二
二一	三	一	二	一	二
二二	三	一	二	一	二
二三	三	一	二	一	二
二四	三	一	二	一	二
二五	三	一	二	一	二
二六	三	一	二	一	二
二七	三	一	二	一	二
二八	三	一	二	一	二
二九	三	一	二	一	二
三〇	三	一	二	一	二
三一	三	一	二	一	二
三二	三	一	二	一	二
三三	三	一	二	一	二
三四	三	一	二	一	二
三五	三	一	二	一	二
三六	三	一	二	一	二
三七	三	一	二	一	二
三八	三	一	二	一	二
三九	三	一	二	一	二
四〇	三	一	二	一	二
四一	三	一	二	一	二
四二	三	一	二	一	二
四三	三	一	二	一	二
四四	三	一	二	一	二
四五	三	一	二	一	二
四六	三	一	二	一	二
四七	三	一	二	一	二
四八	三	一	二	一	二
四九	三	一	二	一	二
五〇	三	一	二	一	二
五一	三	一	二	一	二
五二	三	一	二	一	二
五三	三	一	二	一	二
五四	三	一	二	一	二
五五	三	一	二	一	二
五六	三	一	二	一	二
五七	三	一	二	一	二
五八	三	一	二	一	二
五九	三	一	二	一	二
六〇	三	一	二	一	二
六一	三	一	二	一	二
六二	三	一	二	一	二
六三	三	一	二	一	二
六四	三	一	二	一	二
六五	三	一	二	一	二
六六	三	一	二	一	二
六七	三	一	二	一	二
六八	三	一	二	一	二
六九	三	一	二	一	二
七〇	三	一	二	一	二
七一	三	一	二	一	二
七二	三	一	二	一	二
七三	三	一	二	一	二
七四	三	一	二	一	二
七五	三	一	二	一	二
七六	三	一	二	一	二
七七	三	一	二	一	二
七八	三	一	二	一	二
七九	三	一	二	一	二
八〇	三	一	二	一	二
八一	三	一	二	一	二
八二	三	一	二	一	二
八三	三	一	二	一	二
八四	三	一	二	一	二
八五	三	一	二	一	二
八六	三	一	二	一	二
八七	三	一	二	一	二
八八	三	一	二	一	二
八九	三	一	二	一	二
九〇	三	一	二	一	二
九一	三	一	二	一	二
九二	三	一	二	一	二
九三	三	一	二	一	二
九四	三	一	二	一	二
九五	三	一	二	一	二

しわばら〔皺腹〕	四	咒	しんえいき〔新鋭機〕	一	一	二
しわひだ〔皺襞〕	一	咒	しんえいぶたい〔新鋭部隊〕	一	一	一
しわぶき〔咳しわぶき〕	二六	咒	しんえつ〔信越〕	三	一	二
しわぶく〔咳しわぶく〕	四	五	しんえん〔心猿〕	一	一	一
しわむ〔皺む〕	八	五	じんえん〔神苑〕	四	一	二七
しわめる〔皺める〕	六	五	しんえん〔深淵〕	三	一	一六
しわよせ〔皺寄せ〕	四	五	じんおく〔人屋〕	九	一	一
じわりじわりと	一	五	しんおん〔心音〕	一五	一	二
じわれ〔地割れ〕	四	五	しんか〔神化〕	一	一	一
しをしをと〔悄悄と〕	二	五	じんか〔神火〕	六	一	五
しん〔芯〕	八	五	しんか〔進化〕	三	一	三
しん〔心〕	四	五	じんか〔人家〕	三	一	二
しん〔信〕	一	五	しんかい〔深海〕	一三	一	一五
じん〔仁〕	五	五	しんかい〔新聞〕	一	一	六
じんあい〔塵埃〕	二六	五	しんがい〔心外〕	一	一	一
しんあん〔新案〕	一	五	しんがい〔辛亥〕	一	一	九
しんい〔神意〕	一	五	じんかい〔人界〕	二〇	一	五
しんい〔眞意〕	一	五	しんかいぎよ〔深海魚〕	二	一	三
しんい〔寝衣〕	五	五	しんかいち〔新開地〕	六	一	一
じんい〔人為〕	四	五	しんかいでん〔新開田〕	一	一	一
しんいき〔神域〕	七	五	しんがく〔神学〕	一	一	二
じんいてき〔人爲的〕	一	五	しんがく〔進学〕	七	一	六
じんいん〔人員〕	四	五	じんかく〔人格〕	六	一	三
じんえい〔陣營〕	四	五	しんがくせい〔神学生〕	一	一	四

しんぎ〔審議〕	一	六	しんく〔深紅・しんこう〕	二三	七	じんけつ〔人傑〕	一
じんぎ〔仁義〕	一	六	しんぐ〔寝具〕	六	七	しんけん〔眞剣〕	元
しんぎ〔神祇〕	一	六	じんく〔甚句〕	一	七	じんけん〔人権〕	三
じんき〔神器〕	一	六	しんくう〔眞空〕	六	七	じんけん〔人絹〕	二
じんぎすかん〔ジギスカン・成吉思汗〕	四	六	しんぐう〔新宮〕	一六	七	しんげんち〔震源地〕	三
しんきゅう〔進級〕	二	六	じんぐう〔神宮〕	六	七	しんけんぼう〔新憲法〕	三
しんきゅう〔新旧・新舊〕	二	六	しんくうがま〔真空釜〕	一	七	しんこ〔新香〕	三
しんきゅう〔鍼灸・針灸〕	二	六	しんくうかん〔眞空管・眞空管〕	六	七	しんこ〔新古〕	一
しんきよ〔新居〕	二六	六	しんくうけん〔眞空圏〕	一	七	しんご〔新語〕	五
じんきよ〔腎虚〕	一	六	しんくうちたい〔眞空地帯〕	一	七	しんこう〔信仰〕	三
しんきよう〔心境〕	二三	六	しんぐる〔シングル〕	一	七	しんこう〔深更〕	四
しんきよう〔信教〕	三	六	しんくん〔神君〕	一	七	しんこうーする〔進行〕	二
しんきよう〔神橋〕	二	六	しんぐん〔進軍〕	二三	七	しんこう〔親交〕	一
しんきよう〔進境〕	一	六	しんけ〔新家〕	七	七	しんこう〔信號〕	元
しんきよう〔新京〕	二	六	しんけい〔神經〕	二三	七	しんこう〔人口〕	三
しんきようかい〔新教会〕	一	六	じんけい〔陣形〕	三	七	じんこう〔人工〕	三
しんきようこく〔新京極〕	三	六	しんけいしつ〔神經質〕	二〇	七	じんこうえいせい〔人工衛星〕	二〇
しんきよく〔新曲〕	四	六	しんけいすいじやく〔神經衰弱〕	三	七	しんこうがかり〔進行係〕	一
しんきろう〔蟹氣楼〕	二	六	しんけいつう〔神經痛〕	七	七	しんこうき〔信号機〕	三
しんきろく〔新記録〕	五	六	しんけいまひ〔神經麻痺〕	一	七	しんこうき〔信号旗〕	二
しんきんかん〔親近感〕	一	六	しんげき〔進撃〕	三	七	じんこうこ〔人工湖〕	一
しんぎん〔呻吟〕	一	六	しんげき〔新劇〕	二	七	じんこうこうもん〔人工肛門〕	一
しんく〔辛苦〕	七	六	しんけつ〔心血〕	一	七	じんこうこきゅう〔人工呼吸〕	一
しんく〔眞紅〕	七	六	しんげつ〔新月〕	四	七	じんこうじゆせい〔人工受精〕	三

じんこうだむ〔人工ダム〕	一	六	しんさいきねんとう〔震災記念塔〕	一	六	しんしゃ〔新車〕	四	一〇〇
しんごうだん〔信号弾〕	一	六	しんさいきねんどう〔震災記念堂〕	一	六	しんじや〔信者〕	一五	一〇〇
じんこうてき〔人工的〕	一	六	しんさく〔新作〕	二	六	じんじや〔神社〕	六	一〇一
しんこうとう〔信号灯・信号燈〕	七	六	しんさくのうち〔新才能〕	三	六	じんじやあ〔ジンジャー〕	四	一〇二
じんこうとうた〔人工淘汰〕	一	六	しんさつ〔診察〕	一七	六	しんしゅ〔神酒〕	一五	一〇三
じんこうび〔人工美〕	一	六	しんさつかばん〔診察鞆〕	一	六	じんしゅ〔新種〕	三	一〇三
じんこうふか〔人工孵化〕	二	六	しんさつけん〔診察券〕	一	六	しんしゅ〔新酒〕	八	一〇三
しんこうろ〔進攻路〕	一	六	しんさつしつ〔診察室〕	五	六	しんじゅ〔真珠・真珠〕	七	一〇三
しんこきゅう〔深呼吸〕	六	六	しんさん〔辛酸〕	二	六	しんじゅ〔新樹〕	一六	一〇五
しんこく〔申告〕	三	六	しんざん〔神山〕	一七	六	じんしゅ〔人種〕	一四	一〇五
しんこく〔神國〕	一七	六	しんざん〔深山〕	五	六	しんじゅあん〔真珠庵〕	二	一〇五
しんこくげき〔新国劇〕	一	六	しんし〔信士〕	一	六	しんじゅいろ〔真珠色〕	三	一〇五
しんこくしよ〔申告書〕	三	六	しんし〔紳士〕	一六	六	しんじゅいん〔真珠院〕	一	一〇六
しんこくな〔深刻な〕	一	六	しんじ〔心耳〕	七	六	しんしゅ〔神州〕	三	一〇六
じんこつ〔人骨〕	二	六	しんじ〔心事〕	一	六	しんしゅ〔新秋〕	二	一〇六
しんこん〔心根・こころね〕	三	六	しんじ〔神事〕	六	六	しんしゅ〔信州〕	一四	一〇六
しんこん〔心魂〕	二	六	しんじ〔神璽〕	二	六	しんじゅうする〔心中〕	六	一〇六
しんこん〔新婚〕	三	六	じんじ〔人事〕	二	六	しんじゅがい〔真珠貝〕	三	一〇七
しんこんしゅう〔真言宗〕	一	六	しんしき〔新式〕	二	六	しんしゅく〔伸縮〕	二	一〇七
しんこんしゅうきよう〔真言宗教〕	一	六	しんじこ〔穴道湖〕	一	六	しんじゅく〔新宿〕	七	一〇七
しんさ〔審査〕	五	六	しんしつ〔寢室〕	六	六	しんじゅくえき〔新宿駅〕	四	一〇九
しんさい〔震災〕	二	六	しんじつ〔真実・眞実〕	一六	六	しんじゅくぎよえん〔新宿御苑〕	五	一〇九
じんさい〔人災〕	一	六	じんじつ〔盡日〕	一	六	しんじゅくのーえき〔新宿の駅〕	三	一〇九
じんざい〔人材〕	一	六	しんじつさ〔眞實さ〕	一	六	しんじゅだな〔真珠柵〕	一	一〇九

目次						
しんじゆだま〔真珠玉〕	二	二〇九	じんじん	六	二二	一
しんしゆつ〔進出〕	二	二〇九	じんじん〔陣〕	六	二四	一
じんじゆどの〔仁寿殿〕	一	二〇九	じんしんこうげき〔人身攻撃〕	一	二四	七
しんじゆわん〔眞珠湾〕	一六	二〇九	しんしんと〔深々と〕	三三	二四	一
しんしゆん〔新春〕	四	二〇	しんしんと〔森森と〕	二	二九	三
しんしよ〔信書〕	一	二二	しんしんとして〔浸々として〕	一	二九	五
しんしよ〔寢所・ねど・ふしど〕	七	二二	じんじん〔仁仁〕	一	二九	八
しんじよう〔心情・こころ〕	九	二二	しんじんるい〔新人類〕	一	二九	一
しんじよう〔眞情〕	七	二二	しんすい〔心酔〕	三	二九	一
しんじよう〔針状〕	一	二二	しんすい〔―する〕〔浸水〕	二	二九	一
しんじよう〔進上〕	三	二二	しんすい〔―する〕〔進水〕	九	二〇	三
しんじようさい〔新嘗祭〕	一	二三	しんすいかん〔進水艦〕	二	二〇	二
しんしょうじ〔新勝寺〕	一	二三	しんすいき〔進水式〕	二	二〇	一
しんしよく―する〔浸食〕	一	二三	しんずる〔信ずる〕	四	二〇	五
しんしよく〔神職〕	二	二三	しんせい〔申請〕	二	二三	七
しんしよく〔寢食〕	二	二三	しんせい〔神聖〕	二	二三	一
しんじる〔信じる〕	八	二三	しんせい〔眞性〕	一	二三	四
しんしん〔身心〕	二	二三	しんせい〔新星〕	五	二三	二
しんしん〔心神〕	一	二三	じんせい〔人生〕	三四	二三	一
しんしん〔津津〕	四	二三	じんせいかん〔人生観〕	五	二五	八
しんじん〔信心〕	六	二三	しんせいし〔神聖視〕	一	二五	三
しんじん〔新人〕	三	二三	しんせいじ〔新生児〕	一	二五	一
しんしん〔人心〕	一	二三	しんせいしよ〔申請書〕	一	二五	六
じんしん〔人身〕	八	二三	じんせいてき〔人生的〕	一	二五	五

6

しんりよく〔深緑〕	六	一七	すいあつき〔水圧機〕	四	一七	四	一七
しんりよく〔新緑〕	六	一七	すいゐ〔水位〕	三	一七	二	一七
じんりよく〔人力〕	二	一七	すいゐ〔推移〕	二	一七	二	一七
しんりん〔森林〕	三	一七	すいーとぴー〔スイートピー〕	六	一七	三	一七
しんりんちたい〔森林地帯〕	三	一七	すいゐき〔水域〕	三	一七	三	一七
しんるゐ〔親類〕	四	一七	すいうん〔水運〕	二	一七	二	一七
じんるゐ〔人類〕	六	一七	ずいうん〔瑞雲〕	五	一七	五	一七
じんるゐあい〔人類愛〕	一	一七	すいゐい〔水泳〕	四	一七	四	一七
しんれい〔神霊〕	九	一七	すいゐいよくじょう〔水泳浴場〕	一	一七	一	一七
しんれいじゅつ〔心靈術〕	一	一七	すいゐき〔水域〕	一	一七	一	一七
しんれき〔新暦〕	一	一七	すいゐん〔水煙・みずけむり〕	三	一七	三	一七
しんろ〔針路〕	六	一七	すいゐん〔炊煙〕	六	一七	六	一七
しんろ〔進路〕	二〇	一七	ずいゐん〔綏遠〕	三	一七	三	一七
しんろう〔ーする〕〔心労〕	二	一七	すいおん〔水温〕	二〇	一七	二〇	一七
しんろう〔新郎〕	三	一七	すいか〔西瓜スイカ〕	二二	一七	二二	一七
しんわ〔神話〕	三	一七	すいか〔水火〕	二	一七	二	一七
す	五	一七	すいか〔水槁〕	六	一七	六	一七
す	九	一七	すいか〔垂下〕	一	一七	一	一七
ず	六	一七	すいか〔醉歌〕	三	一七	三	一七
ず〔図〕	七	一七	すいか〔誰何〕	九	一七	九	一七
す〔洲〕	一九	一七	すいが〔醉臥〕	一	一七	一	一七
すあし〔素足〕	一八	一七	ずいが〔瑞花〕	三	一七	三	一七
ずあん〔凶案〕	六	一七	すいがい〔水餉〕	一	一七	一	一七
すいあつ〔水圧〕	二	一七	すいがい〔水害〕	七	一七	七	一七

目次																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

すいた〔好いた〕	一	一三三	すいどうばし〔水道橋〕	三	二四二	すいほう〔水泡・みなわ〕	七	二七
すいたい〔酔態〕	二	二三三	すいどうばた〔水道端〕	二	二四二	すいほう〔水疱〕	一	二九
すいちゅう〔水中〕	二〇	二三三	すいとうぼ〔出納簿〕	二	二四二	すいぼう〔水防〕	一	二五〇
すいちゅうよくせん〔水中翼船〕	二	二三四	すいどうや〔水道屋〕	一	二四二	すいぼうし〔衰亡史〕	一	二五〇
すいちよう〔翠帳〕	一	二三四	すいどうりようきん〔水道料金〕	一	二四二	すいまつ〔水沫〕	四	二五〇
すいちよく〔垂直〕	四七	二三四	すいどうろ〔水道路〕	一	二四二	すいみつ〔水蜜〕	二	二五二
すいっち〔スイッチ〕	二	二三五	すいとる〔吸い取る〕	一	二四二	すいみつとう〔水蜜桃〕	二	二五二
すいっちょ〔馬追〕	二七	二三五	すいば〔酸葉〕	六	二四二	すいみやく〔水脈〕	一三	二五二
すいちようか〔醉蝶花〕	三	二三六	すいばく〔水爆〕	六	二四二	すいみん〔睡眠〕	九	二五四
すいてい〔水底〕	一八	二三六	すいばくじっけん〔水爆実験〕	六	二四二	すいみんざい〔睡眠剤〕	三	二五五
すいてき〔水滴〕	二〇	二三三	すいはつ〔垂髪〕	六	二四二	すいみんやく〔睡眠薬〕	六	二五五
すいてん〔水天〕	六	二三三	すいはん〔水盤〕	五	二四二	ずいむし〔髓虫〕	一	二五五
すいでん〔水田〕	二四	二三三	すいび〔衰微〕	一	二四二	すいめい〔水明〕	二	二五五
すいてんぐう〔水天宮〕	五	二三六	すいひつ〔醉筆〕	二	二四二	すいめん〔水面〕	一七	二五五
すいとう〔水筒〕	二六	二三六	ずいひつ〔隨筆〕	三	二四二	すいもん〔水門〕	三	二五九
すいとう〔水稻〕	二	二三九	ずいひつしゅう〔隨筆集〕	三	二四二	すいやく〔水薬・みずぐすり〕	三	二六〇
すいとう〔出納〕	二	二三九	すいふ〔水夫〕	二四	二四三	すいよ〔酔余〕	一	二六〇
すいどう〔水道〕	七	二三九	すいぶん〔水分〕	八	二四四	すいようび〔水曜日〕	一	二六〇
すいとうがかり〔出納係〕	一	二四〇	すいへい〔水平〕	二四	二四四	すいよく〔水浴〕	四	二六〇
すいどうかん〔水道管〕	四	二四〇	すいへい〔水兵〕	二六	二四五	すいらい〔水雷〕	一	二六二
すいどうげん〔水道源〕	一	二四〇	すいへいせん〔水平線〕	六	二四五	すいらん〔翠巒〕	一	二六二
すいとうしつ〔出納室〕	一	二四二	すいへいめん〔水平面〕	一	二四七	すいらん〔翠嵐〕	一	二六二
すいどうせん〔水道栓〕	六	二四二	すいほ〔醉歩〕	一	二四七	すいり〔推理〕	二	二六二
すいどうとう〔水道塔〕	一	二四二	すいば〔水母〕	三	二四七	すいりく〔水陸〕	一	二六二

目次																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

すがかき〔清搔〕	二	三四	すがとり〔菅鳥〕	一	三九三
すがかさ〔菅笠〕	二五	三四	すがのねの〔菅の根の〕	二七	三九三
すがき〔簀垣〕	三	三五	すがはら〔菅原〕	一九	三九三
すかさず〔透かさず〕	一	三五	すがむしろ〔菅筵〕	二	三九三
すかす〔透かす〕	一〇三	三五	すがやか〔清やか〕	四九	三九三
すがし〔清し〕	一四八	三八	すがやかに〔清やかに〕	四	三九四
すがしい〔清しい〕	三	三九	すがら	六七	三九六
すがしさ〔清しさ〕	三四	三九	すがりつく〔縋り付く〕	二	四二
すがしひかり〔清光〕	一	三四	すがる〔縋る〕	一九	四二
すかしみる〔透かし見る〕	五	三四	すがる〔末枯る〕	三四	四六
すがしむ〔清しむ〕	七	四五	ずかん〔凶鑑〕	九	四二
すがしめ〔清し女〕	四	三七	ずかんそくねつ〔頭寒足熱〕	一	四二
すかす〔すかす〕	三	三七	すかんぼ〔酸模〕	三	四二
すかす〔透かす〕	三	三七	すき〔好き〕	四〇	四三
すかすか	一	三八	すき〔数奇〕	四	四三
ずかずか	三	三八	すぎ〔杉〕	一四九	四三
すがすがしい	二	三八	すぎ〔過ぎ〕	二六〇	四五五
すがすがと	二五	三八			
すがた〔姿〕	一八〇六	三五			
すがたあん〔菅田庵〕	五	三九			
すがだいら〔菅平〕	三	三九			
すがだたみ〔菅畳〕	五	三九			
すがたみ〔姿見〕	二	三九			
すがたやき〔姿那〕	一	三九			
計			一九三〇首		

葉がぐれに白く光れる佗助の花ありて見ゆなほも咲けるか②②
 はがねのみ白く光れる工場に無形の生命明日も持つべし①
 吐き棄つるものの如くにほうほうと息ただ白く吐きて我ゆく①
 萩に隣りすすきは高く穂を出し雲白く秋ばれつづく①①
 萩の碑の石のおもてに秋の日が白く明るくあたりゐるかな⑦
 はく息の息のことごとく白く伸び空渡る日の南に低し①④
 吐く息の親しき朝となりけり家蔭の霜の白くひかれる①
 吐く息の白くも月に見えしかば北支の君を妻が言ひたり（支那事変後）
 白雲は月の光にいや白く皆動き居り空を満たして（新萬葉集三）
 白菜の葉茎を染むる茜いろこのごろしろく夕焼けにけり
 爆弾の跡の窪みの溜り水桜の花を白く映せり⑤
 爆発 轟に漏れた高压線の一部円い球が白くぴかぴか光る⑫
 剥げ落ちし薔に白く月射して更げゆく夜半に餘震待ち居り②
 箱根路に山法師花満ちも咲く布より白く絹より鈍く②⑦
 葉ざくらの繁れる下に病棟あり窓々あきて白く横たはる
 端居してくもりすすきこの朝律の穂花白く咲きたり②
 丁香花のはの白く咲く一群に杏の花のいたく明るし①
 橋の上に乾しし青草宵闇にしろく香に立つ踏みて帰らむ②
 橋の下白くたぎりて行く見ずのあはれはわれも君も知るなり②
 初めての爆弾に果てし友を思ふ生きて残れるわが髪白く⑤
 はしゆつふのかしぐもちひにたつゆげのほのかにしろくとしのいたれ
 る②
 柱にも壁にも白く消え難き水禍の痕を持ち祖父の家
 バスの列に佇ちまてるとき人來り標識を白く塗りはじめたり①

窪田 空穂
 藪 阿久里
 塚田 菁紀
 金子 薫園
 金子 薫園
 窪田 空穂
 白水 吉次郎
 鈴木 金二
 草越 橋映夫
 木俣 修
 若林 牧春
 金子 薫園
 若林 牧春
 與謝野 晶子
 扇 畑 忠雄
 神原 克重
 田中 四郎
 高安 国世
 斎藤 喜博
 相良 義重
 会津 八一
 浜 梨花枝
 遠山 光栄

裸のまま横坐りしてモデルが取るコップに白く水のきらめく
 島より煙がしろく立てる見ゆ麦刈る秋となりけるかも③
 裸木の梢尖白く凍みたてば汽車登りつめぬ坂谷峠を④
 働ける女人の脛に泥白く乾けるみれば夏近みかも②（現代短歌大系）
 はちうゑの青苔山のおきふしに流れは白く砂まきたる
 八十二の姉髪白くけふを来てもさわやかに話したまふ④
 鉢の梅白く咲きたるかたはらに木彫の赤人坐りをるかな
 はつか草うす紫の花すぎてなほ青き葉に霜しろく置く⑧
 初霜の白く置きたる枯芝にあしたの光くまなく照れり
 初冬のしづかなる日に批把の花白くちりくる二階の窓かな⑤
 初雪に白く浮き立つ戸口には幾年ぶりぞ万才の立つ
 はとばまであらずの花が散つて来て船といふ船は白く塗られぬ①
 はな薄一むら白く目に立ちて広き河原に消えゆく朝霧
 花岡に見る八が嶽空晴れて鶴より白く淨らなりけれ（心の風景）
 花溢るる椿の大樹幹白くあたらしきまぼろしを誘ふ曇りに①
 花白く朝のひかりに入るとき霧のながれをわれは見にけり（多摩四）
 花田大人口ひげ白くならしてをいよ親しも柔面笑みつつ③
 鼻づらの白くむける鮭のむれ流れにむかひかへすことなし
 花の後の若葉ゆたけき寺の内しろく閉したる僧があり⑫
 花の息こもる気配にはの白く花屋の玻璃戸朝曇りをり④
 花の色いづれはあれど夏くさは白くさけるが涼しかりけり②
 花の山くだればくれの鐘なりてかはなみしろくつきはのぼりぬ（新萬葉集別）
 花びらが散りうく水に風ふきて白くゆれつつかたまりてゆく④

野田 孝之
 斎藤 茂吉
 鈴木 康文
 金子 不泣
 平福 百穂
 塚田 菁紀
 宇都野 研
 土屋 文明
 石川 まさ子
 金子 薫園
 大橋 春子
 斎藤 史
 水上 赤鳥
 與謝野 晶子
 金子 信三郎
 西山 保
 岡本 大無
 橋本 徳寿
 松村 英一
 若林 牧春
 樋口 一葉
 鳥野 幸次
 長沢 美津

花見人が鎌倉山の畑土に捨てし玉子の殻白く見ゆ②

羽白く 鴨はばたけり 眼の前の 柿若葉をすく 向うの池に(波瀾)

羽白く夕日の沼に下りなづむ鳥のむれ見ゆ丘に立つ風(玉砂集)

翅つかむ山川の渦の鳴り凄しまゆら白くひるがへる蝶

はね橋と信号柱と見ゆ夏の日の芝浦の景色しろく眩しき(新萬葉集四)

葉の上に鋪石の上に散りこぼるる八つ手の鼻の白く鮮しき①

葉のへりの刻みに白く霜凝りぬ船べに青きたんぼの株(新萬葉集九)

母が住む杜の中より壁しろく家みえければこころおちつかず

羽ばたきていまは疲れし夜の蛾が玻璃窓に白く裏見せにけり(多磨二)

母ゆきて十三年の月日とほしわれは五十路の鬚白くなりて③

灰白くかかむりし燠をかたはらの火鉢に見れば幾時ならむ(新萬葉集二)

浜名湖の今切とほく立つ波の夕焼のそらを白くあしらふ(新萬葉集九)

浜名湖は白く光りて平らかに夏とはなりし雨ふりにけり⑧

ハマナスの花のうへ低く蝶ゆゑに白く吹かれて風に遊びつ⑤

浜木綿は植ゑおとろへしいつしかに茎より花を白くささぐる(雪炎)

浜木綿も道のくさなる南の浜にふむ砂白くて厚き⑪

林ぬけてとみに明るき月光に眠る背の子の顔白く見ゆ(新萬葉集八)

早立ちの馬は置鞍ひえびえと乗場によせて息しろくゐる(多磨二)

疾風揉み揉む梢の花白く傷めらるるものの美しさにあり①(角川文庫)

しばらくは光化門をさめつ海の上に白くかかれる月をば見たり④

船腹白く波間に見せて郵便船岸とほくすぎぬ夕ある海を①

薔薇白く渚に咲きて汝が心小暗くみゆるゆふべなるかも(あそぞら)

バラックが夕光に白く曝れてゐる視野寒ざむしがード抜け来て③(角川)

文庫

武井 ひろ子

斎藤 瀏

峯村 国一

北原 白秋

佐藤 信春

山田 百合子

小田切 浪彦

細井 魚袋

福沢 恵一

山下 秀之助

大熊 長次郎

小田 観螢

高田 浪吉

安田 章生

西原 重敏

尾上 柴舟

三戸 保

平塚 伊都子

宮 柊二

生田 蝶介

塚田 菁紀

村岡 黒影

木俣 修

ばらつきて雨のやみたる夜の闇に峽のさくらはただ白く見ゆ⑪

原の草えび野あたりの末白くやがて雲ともなるけしきかな②①

梁が見えシャフトが現はれ湯気は白く光りああ待ちかねた夜明けが来た!

張りつめし池の水に降りし雪花びらのごと白く散り敷く

玻璃戸白く雪に明けたり寝ながらに今日の講話の筋たどりぬつ⑦

貼り並ぶすと宣言のビラあたらし朝の舗道の白く乾きて②

春浅きけふも終日風吹きて土いちじるく白く乾けり(新萬葉集六)

春浅し卒塔婆白く吹かれぬて墓処しづかに雲のうつろふ(多磨四)

春浅み雛菊一つはつかりと咲いて居たりき遠山白く(あそぞら)

春いまださわがしからぬ空のいろ辛夷の花は白く咲きたり

春いまだ遠嶺に白く雪ありて落葉松林芽ぶきたりけり①

はる霞しろくこめたす野の涯におぼろに長し多摩の横山②①

杳なる記憶のうへに雪白く積もれる上に雪は降り積む②

はるかなる宮城ざかひに見えて居り曇りの中の山膚しろく(白き山)

春きざす風の清しさ朝明けの薄氷白く輝きにけり

春くれば白く小さき足の指かはゆしと君を抱きけるかな

春さつき思ひもよらぬ朝霜の躑躅の花に今朝白くあり⑩

春雨に濡れたる屋根の上越えて一本桜白く照りたり⑩

春雨のしづくもかをる心ちして杉の葉白くちるさくらかな

春雨のしろく乱れて降る岩に羽ばたき寒く鶴のとりは来ぬ③(角川文庫)

春雨の夜空に白くめぐるらし広告塔のひかりも更けて②②

春時雨婆羅の細枝の若葉芽を白く濡らして降り過ぎにけり(新萬葉集四)

春空のかすみ抽きてましろくもいただき並ぶる常念が岳①⑦

松村 英一

與謝野 晶子

国松 行雄

上山 幸子

松田 常憲

大岡 博

原田 石水

塚本 すみ

金子 不泣

橋本 徳寿

米倉 久子

窪田 空穂

藤好 淳之

斎藤 茂吉

金子 真司

北原 白秋

今井 邦子

窪田 空穂

久米 幹文

木俣 修

土岐 善麿

佐治 斗牛

窪田 空穂